宇都宮市立錦小学校　学校だより

にしきの子

◇学校教育目標・合言葉◇
「しっかり学ぶ」　「よりよく生かす」
「なかよく生きる」「元気でがんばる」
Ｒ２．９．４　第１４号
錦小学校長　髙野　英司

カラーでご覧になりたい方は，錦小ＨＰ「学校だより」http://www.ueis.ed.jp/school/nishiki/まで
ＨＰでは，学校だよりで紹介できなかった写真も掲載しておりますので，ぜひご覧ください。

熱中症への対策～暑さ指数（ＷＢＧＴ）の計測を生かして～

夏休みを終え，学校が再開して３週間となります。連日の猛暑の中でも，児童達はだんだんと学校生活のペースをつかみ，しっかりとした態度で授業に臨むとともに休み時間は元気に遊んでいる姿が見られます。

学校では，児童の熱中症予防を最優先に，体育の時間や休み時間等，校庭で活動する際には，帽子の着用，水分の補給，適度な休憩時間の確保等の指導，配慮をしっかりと行うように取り組んでおります。しかし，今年の猛暑は児童の命や健康に大きな影響を及ぼす恐れがありますので，学校では，市教育委員会や宇都宮地方気象台からの情報や暑さ指数計を活用しての暑さ指数をもとに校庭等での児童の活動に対して配慮しております。

先日の８月１９日には，熱中症予防運動指針（日本スポーツ協会）では，『運動は原則中止』となっている気温，暑さ指数を超えたため，校庭での体育の授業を中止するとともに，昼休みに児童を校庭には出さず，校舎内で過ごさせるようにいたしました。

全国ニュースでは，校庭で体育や部活動をしていた児童生徒が熱中症のため救急車で搬送されるという事故の報道もときどきありますので，学校では児童の命，健康について十分に留意して取り組んでまいります。

養護教諭による毎日の暑さ指数の計測

暑さ指数計

「社会に開かれた教育課程」～錦小の教育11～

☆市の重点施策・事業との関連について☆

宇都宮市教育委員会では，市の教育の重点施策・事業として，（１）地域とともにある学校づくり（２）小中一貫教育・地域学校園（３）不登校対策　を設定しています。

今回は，（１）地域とともにある学校づくり　についての基本的な考えと主な取組を紹介します。

（１）地域とともにある学校づくり

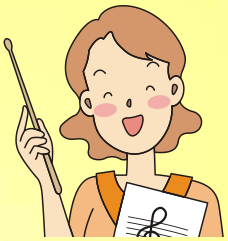
① **基本的な考え・・学校教育活動の充実と社会に開かれた教育課程の実現のため，積極的に連携を図る。**

② **主な取組・・地域にある諸団体，外部講師，保護者ボランテイア等との連携を図ったカリキュラムの実践，学習や行事への支援・協力，児童の健全育成及び，安全確保，潤いのある環境整備等**

学校だより第６号で紹介しましたとおり，この錦地区では，地区の皆様が一致協力し，錦地区まちづくり協議会や連合自治会など地区の各種団体を組織され，それぞれの団体様が，「安全・安心なまちづくりの推進」や「児童生徒の健全育成」などの目的に向かって，大変充実した素晴らしい事業をされています。また，学校のため，児童のために，進んでボランティア活動をしてくださる，地域や保護者の皆様方がたくさんいらっしゃいます。

錦小学校では，こうした素晴らしい団体様，地域や保護者の皆様の素晴らしいお力をお借りしながら，地域の宝でもある児童の健全育成に全力で努めます。なお，今年度は，新型コロナウイルス感染症の感染防止を十分に留意して取り組んでまいります。

おじゃまします！！教室訪問　～２の○ ～



今回は，２年○組です。担任は，　Ｔ　先生です。算数の時間にお邪魔しました。

本時は，「長さ」という単元（学習のまとまり）のところで，「身の回りのものの長さについて，およその見当をつけ，測定することができる」ことをねらいとして授業が行われました。

まず，先生は，前の時間の算数の授業内容を確かめた後，「ものさしの準備はいいですね。最初に，前の授業で身に付けた長さの測り方を使って，お友達の考えた問題をやってみましょう。」と大型テレビに映した問題を見せながら児童に指示し，復習プリントを配りました。

復習プリントには，学級の児童が考えた問題（直線）が書かれています。前の時間に学習した，「ものさしを使って正確に長さを測る活動」の復習です。

先生は，明るい表情で「ものさしで長さを測るときに気を付けることは何ですか？」と児童に尋ねました。すぐに，真っ直ぐに多くの児童の手が挙がります。先生が「○○さん」と指名すると，指名された児童は，「はい。」と返事をし，「ものさしの端をきちんと揃えることです。」としっかりと答えます。また，「真っ直ぐに測ることです。」という意見も出されました。児童達は前時の学習内容をしっかりと身に付けています。先生は，２つの注意点をまとめたカードを黒板に掲示しながら「そうですね。この注意点を頭においてやりましょう。」と指示し，児童達は，早速，どの子も意欲的に復習プリントの学習に取り組んでいきました。

先生は，児童の学習の様子を見守りながら必要に応じて個別に指導をしていきます。３問の問題なので，児童達からは，「終わりました。」「見直しも終わりました。」という元気のよい声が上がります。先生は，「すごいね。では，終わった人への挑戦状だよ。７ｃｍの直線をかいてごらん。」と言って，終わってしまった児童への課題を出しました。児童達は，こちらも意欲的に取り組む姿が見られました。

その後，全体で答えを確かめていきました。多くの児童達が手を挙げ，進んで答えを発表していきますが，指名されたら返事をすることや発言をするときには，「きちんと～です。～だと思います。」と語尾まできちんと話すことができており，普段からの指導が児童にしっかりと身に付いていると感じました。答え合わせをし，ほとんどの児童が正確に測ることができていました。

復習の活動が終わり，先生は，「それでは，皆がものさしを正しく使えるようになったところで，今日は，こんな学習をしますよ。」と言い，ものさしを拡大したような掲示物をはりながら，『長さのずかんを作ろう！』という本時のめあてを黒板に書きました。そして，「みんなの持ち物や教室内にあるいろいろなものを測ってそれをまとめて図鑑にしますよ」と先生が投げかけると，児童達はその学習活動に対して大変興味を示し，表情がより一層明るくなっていきました。児童の興味・関心を高める「主体的な学び」への働きかけが成功しています。

次に先生は，学習プリントを配り，「まず，長さを測るものを決め，次に，おおよその長さを予想します。それから実際に測ります。」と学習活動の手順を分かりやすく説明します。児童はよく先生の話を聞いています。活動中，児童達が密集して感染リスクが高まらないように，座席を離れ教室内のものを調べるのは，列ごとに交代するよう説明もして学習活動が始まりました。

児童達は，やるべきことをしっかりと意識し，これまで学んだ長さを正確に測る技能を生かして意欲的に取り組んでいきます。先生も，児童達の学習活動の様子を見て回りながら，「自分が予想した長さと合っていたかな？」など，児童の活動意欲を高めるような言葉をかけていきます。児童達は，筆入れやハンカチ，折り紙，消しゴムなどの持ち物やロッカーの縦の長さ，本棚の横の長さ，床のマスの長さ，黒板の横の長さなど，様々なものの長さについて楽しみながら意欲的に調べていきました。

児童が長さを測る活動にしっかりと取り組んだ後，発表に入りました。児童からは，多くの挙手があり，進んで調べた結果が発表されました。先生は，児童の発言をもとに，ものさしを拡大したような掲示物のところに，児童の発表する計測結果を記録していきました。児童達は，皆が調べた結果と自分が調べた結果を比べたりしながら，長さを測定することの楽しさを味わったり，長さについて見当をつけ適切に計測する技能を身に付けたりすることができました。最後の振り返りの活動では，頑張って授業に取り組めたと全員の児童が自己評価できていました。

Ｔ先生は，教職○年目となりますが，音楽が専門で，音楽集会ではピアノ伴奏を務めております。（今年度は，新型コロナウイルスの関係で集会は見合わせております。）また，清掃主任としても活躍しています。Ｔ先生とともに，２年○組の児童たちがこれからもさらにぐんぐん力を付け，より一段と素晴らしい児童に育つことを大いに期待しています。

※　読みやすさを考え，教員の呼称は，「教諭」ではなく，「先生」とさせていただきました。

※ 地域・ホームページ用の学校便りでは，不特定多数の人の目に触れることもあるため，教職員の名前は，イニシャルにし，顔写真は，カットしております。ご了承ください。